

水もしたたる 大人



水は私達にとって身近な資源です。子どもの頃（小さい頃）は、水たまり等で、はしゃいで遊んでいると誰もが叱られたという経験もあったでしょうが、子どもの頃は水に対しては全くと言っていい程抵抗を感じてなかったのではないのでしょうか。しかし、人は大人になるにつれ、海やプールに行っ

例えば



という風に、水は私達にとって**身近な資源**です。子どもの頃（小さい頃）は、**水たまり**等で、**はしゃいで遊んでいる**と誰もが叱られたという**経験**もあったでしょうが、子どもの頃は**水**に対しては全くと言っていい程**抵抗**を感じてなかったのではないのでしょうか。しかし、人は大人になるにつれ、**海やプール**に行っ**泳いだり、雨に濡れたりすること**に抵抗を感じるようになります。つまり**水嫌い**になるのです。そうだとしたら、

なぜ大人は水に濡れることに引け目を感じるのでしょうか？



ほくが癖でくるびろ〜



興味あるわ〜
癖でみよ〜



疑問の理由をあげてみるじり!



「最初に濡れることに引け目を感じるのは、いつか？」

ということですが、子どもから大人へと変わる**高校生頃**のようです。体が発達し、いろいろと人の目にも気になります。蒸びたいという気持ちと、気恥ずかしさが複雑にからみ合っているのがこの頃です。プールなどで遊びたいけど、「異性の目が気になる」という理由で水遊びをやめてプールなどから遠ざかることがあります。

これ以外で大人になるにつれて濡れるのを嫌がるようになるのは何故なんだろう？

一つ目は**ベタつく**という理由ですが、ベタつくのは服と肌の間が付いたり、離れたりするからです。さらに水に濡れることで肌に布が引っ付き、そのため乾きが遅く、いつまでも肌にくっついて気持ちが悪いです。

二つ目に肌に布が引っ付くことで**ボディラインがわかる**ことも嫌なことです。女性は自分のボディラインに自信を持っている人は少ないでしょう。ラインがわからないように、また上に服を着ても水に濡れるとラインが見えてしまいます。

最後の理由として**濡れた後、拭くことや、着替えが面倒だから**ということがあげられます。水に濡れ、着替える時に、脱ぎにくいということが、みなさんあったはず。だから”そんな面倒なことをするくらいなら、

「最初から濡れなければいい・濡れたくない」

という考えになり、プール・川・海などに行かなくなくなります。そしてそのまま大人になり、気付いたときは水遊びをしたいのに

「歳だから今さら子どものようには遊べない」

という言い訳をして水遊びをやめてしまうのです。

ベタベタする～



ボディライン
段々ちゃん～♥



面倒～



それじゃあ、これまであげてきた水を避ける理由も、
どうあっても濡れてもいいと思えるのかも考えてみるぞ



Q 1. ベタつきを避けるには？

布を肌に密着させる。

Q 2. ボディーラインがわからないようにするためには？

ゆとりのある服を着る。

Q 3. 濡れた後の着替えや体を拭くことが面倒でなくなるためには？

早く乾くようにする。

服を着ていると水の抵抗があって
濡れやあいたって
だから服も**密着**させておくと
濡れにくいと思うんだけどなー

このような服であれば濡れても**不快感**はないはずですが。
しかし、**ベタつき**と**ボディーライン**は全く反対の解決方法になります。

このような場合どうすれば良いのでしょうか！？

★おまけ★

色は黒にすると、細く見えて効果的！
黒は熱を吸収するから乾くのも早い！
ファスナーをつけると取り外しが可能でより良い！

(目立たないように！)

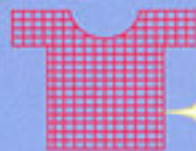


ファスナー



これらの解決方法をもとに水に濡れてもよい服を開発していきましょう！

まず服と布の間に密着させるためには水に濡れると**収縮する素材のもの**がよいと考えました。
 しかし**密着させるとボディーラインが分かってしまう**という問題が出てきます。
 そこで**2枚の布**を使ってみる事にしました内側に上で述べた**収縮する素材**、外側は**乾きやすく動きやすい素材**のポリエステルやナイロンを用います。



濡れたら...



収縮する！

あとは気になるところに空気を入れる**ふきこみ口**をつけます。
 これで**ボディーラインの問題**を解決する事ができます。



空気入れ

自立たない！取り外し可能！
 しかも自分の付けたい所に
 付けることができる！

このような服があれば何も気にすることなく**水の中に服のまま飛び込め**
雨に濡れても平気です！

あなたもこれで**水もしたたるいい大人**になれるでしょう！

